

第1回未来創造・地域社会部会（令和5年5月24日） 委員発言要旨

NO.	議事	テーマ	発言要旨	発言者
1	「新秋田元気創造プラン」戦略4の取組について	「目指す姿1 新たな人の流れの創出」について	あきた暮らし・交流拠点施設へのアクセスのしやすさや周辺施設をアピールするべきである。	鈴木了委員
2			若者向けの就活応援事業において、企業や、その企業に働く大人、仕事の内容、仕事に対する思いについて知ってもらうべきである。	石田万梨奈委員
3			高校時代に、地元の人々のライフストーリーについて知る経験をさせる時間、そして自分と向き合う時間を作るべきである。	石田万梨奈委員
4			通り一遍の職場見学ではなく、若者により響くという部分が重要である。	石田万梨奈委員
5			高校時代にキャリア支援を行うことにより、ライフプランや仕事に対する考え方、適性について理解する時間を設けるべきではないか。	石田万梨奈委員
6			価値観が満たされる形で生きられる、仕事ができるためには、キャリアデザインの機会（キャリアを考える機会）を地域や職場でも設けるべきではないか。	石田万梨奈委員
7	「目指す姿2 結婚・出産・子育ての希望がかなう社会の実現」について	「目指す姿2 結婚・出産・子育ての希望がかなう社会の実現」について	育休取得率を改善させるべきではないか。	能登祐子部会長
8			「育休」という言葉は世間に広まっているが、女性は何を求め、男性は何をするべきか、具体的な取組内容についても広報していくべきである。	鈴木了委員
9			出産や子育て等に関する夫婦間での積み重ねや記録を残しておくことで、育休を取得する意義を見出せるのではないか。	鈴木了委員
10			男性の育児休暇取得促進のためには、企業でセミナーを実施して、男女のアンコンシャスバイアスを取り除く必要があるのではないか。	石田万梨奈委員
11			男性には、育休取得の意識をより持ってもらいたい。	石田万梨奈委員
12			高校生向けに伴走型のキャリアやライフプラン支援を行うことで、県全体として、もっとパワーアップにつながっていくのではないか。	石田万梨奈委員

NO.	議事	テーマ	発言要旨	発言者
13			両親共に県外出身の移住者においては、子育てサービスのニーズが高まっている。子育てサービスをビジネスモデル化するための支援が必要ではないか。	石田万梨奈委員
14			福祉医療費等の助成事業について、今後も継続するとともに更に充実させていくべきである。	原田美菜子委員
15		「目指す姿3 女性・若者が活躍できる社会の実現」について	女性や若者の活躍に向けては、若者や起業家、働き盛りの女性向けの支援が必要である。	石田万梨奈委員
16			将来を担う若者向けの投資（支援）が必要である。	石田万梨奈委員
17		「目指す姿4 変革する時代に対応した地域社会の構築」について	価値観をお互いが認め合う風土づくりが大事である。	石田万梨奈委員
18		「目指す姿5 脱炭素の実現を目指す地域社会の形成」について	フードバンクやフードドライブというエコ活動も大切である。	能登祐子部会長
19			啓発事業をするに当たり、ソーシャルマーケティング思考で取り組んでいくべきではないか。	石田万梨奈委員
20			環境問題に取り組むに当たり、ターゲットに合わせて、表現の仕方やデザイン等を変えていく必要があるのではないか。	原田美菜子委員
21			省エネや断熱に関する助成制度等を周知することによって、高齢者等も長年居住している家をリフォームすることに関心を持つのではないか。	原田美菜子委員
22		「目指す姿6 行政サービスの向上」について	印鑑証明書などが必要とされる場面そのものを、減らしていくべきである。	鈴木了委員 原田美菜子委員
23			オープンデータのサイトを活用しているが、目的のデータまでのリンクがたどり着きにくい。	原田美菜子委員
24			エクセルデータのほか、マップ作成に向けて、GISデータを充実してもらいたい。	原田美菜子委員